

## 〈音楽科〉 5年

### 現在の分析

#### 〈音楽への関心・意欲・態度〉

○音楽への関心・意欲をもった児童が多く、合唱や器楽に積極的に取り組む姿が見られる。

#### 〈音楽表現の創意工夫〉

○リズムや旋律を即興的に創作し、表現することが出来る。

○明るく響きのある声で歌う工夫や、歌詞の内容や旋律から曲想を感じ取って表現を工夫しようとする姿が見られる。

○合奏では各パートの音色を聴き合いバランスを考えて表現する姿が見られる。

#### 〈音楽表現の技能〉

○自然で無理のない、響きのある歌い方で、丁寧に歌うことがおおむねできる。

器楽では、音を重ねて表現することを楽しんでいる。

#### 〈鑑賞の能力〉

○楽曲の曲想や特徴を感じ取り、聴くことができるようになってきている。

### 重点課題

#### 〈音楽への関心・意欲・態度〉

○感じ取った楽曲の曲想に自信をもち、合唱・合奏で生き生きと表現できるようになること。

#### 〈音楽表現の創意工夫〉

○音楽の仕組み(反復・変化)や要素(強弱・速度など)を生かして、友だちと音楽づくりができるようになること。

○楽器の音や声の重なりによさを感じ取り、よりよい表現を工夫していくこと。

#### 〈音楽表現の技能〉

○発音やフレーズの歌い方を工夫して、歌詞の意味が聞き手に伝わるように豊かな響きのある声で歌えるようになること。

○合奏全体の中で、曲想に合う自分のパートの演奏を理解し、強弱等を工夫して演奏すること。

#### 〈鑑賞の能力〉

○楽曲を特徴づけているリズム、旋律、強弱、速度などの要素が楽曲全体の曲想を生み出していることを感じ取って聴けるようになること。

### 授業改善策

#### 〈音楽への関心・意欲・態度〉

○めあてや課題を明確にし、進んで学習活動ができるようにする。

○学習形態や内容を工夫し、できる楽しさやみんなで合わせる達成感を味わうことにより、音楽に関心をもたせるようにする。

#### 〈音楽表現の創意工夫〉

○音楽の仕組み(反復・変化)や要素(強弱・速度・重なりなど)を表現や鑑賞を通して感じと取ったり、表現に取り入れたりする学習を積み重ねていく。

○友達の表現を互いに聴き合い、そのよさを見つけ、自分の表現に生かす活動をしていく。

#### 〈音楽表現の技能〉

○歌詞の言葉の意味を理解や、歌詞のもつリズムや言葉の抑揚などの学習をていねいに行い、呼吸法や発声練習等の基礎学習を積み重ねていく。

○合奏の全体練習・パート練習・個人練習を組み合わせ、音の重なりの中で奏法を学習する。

#### 〈鑑賞の能力〉

○楽曲を特徴づけている要素や仕組みのわかりやすい曲を選び、気づきながら聴くことができるようにし、曲想を味わえるようにする。